

【CTINとは】 デザイン・フェスタ（毎年2回東京ビッグサイトで開催）やデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿などでの鉄道写真・花火写真展示、ライブ写真の撮影及びアーティストさんへの提供などで活動する個人ユニットです。

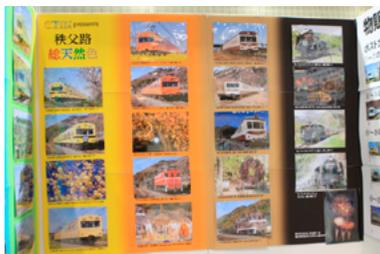
【主な活動範囲】 埼玉県・秩父鉄道沿線及び宮城県を中心とした南東北。但し、機会に応じて日本全国どこでも行きます。花火は関東北部・南東北を中心に年十数大会。ライブはアコースティック系が多いですが特に限定していません。

【今号の見どころ】

- (1面) Design Festa Vol.35 ご来場御礼
- (2面) わくわく鉄道フェスタ/仙台・青葉まつり
- (3面) CTIN Artist Selection 相模の風 THE めをと
- (4面) CTIN からのお知らせ

Design Festa Vol.35 秩父路総天然色 ご来場御礼

去る5月12日、13日に東京ビッグサイト西ホールにて開催されたDesign Festa Vol.35にE-368ブースにて出展いたしました。ご来場、ご支援頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。



今回の展示は、初めてデザフェスに出展したVol.32の内容に立ち戻り、秩父鉄道の電車の「色」にこだわりました。

Vol.32では単に電車の写真だけを色別に並べていましたが、今回は電車の色と、秩父線沿線の観光地等のイメージの色とを織り交ぜ、左から右へ、薄い色から濃い色へと変化する並びで写真を展示しました。



また物販については目玉商品となるミニ写真集「秩父路総天然色」のほか、ポストカードに新作として「新・なないろの電車たち」を追加しました。お買い上げ大変ありがとうございました。

特に今回は準備の遅れから、オープニングが所定の11時よりも2時間近く遅れる事態となってしまい、大変申し訳ありませんでした。また、お客様としてご来場頂いた友人にも準備作業を手伝って頂きました。大変ありがとうございました。

今回は土曜日の夕方、都合により私が不在となったため、その間を中心に、ミュージシャンでありフォトグラファーでもある、岡崎みやさんに手伝って頂きました。SLキャラクターパレोकくん・パレナちゃんのハンドパペットを駆使してお客様の呼び込みに尽力してくださったほか、物販スペースの配置についてもご協力頂きました。次回も是非お願いしたいと思っています。

次回、Vol.36も出展します。11月10日（土）、11日（日）、場所は同じく東京ビッグサイトです。詳細は近づき次第お知らせしますが、今度はこれまでと異なる、即ち秩父鉄道や東北・宮城から離れた視点での展示をしたいと考えています。今から予定を空けて頂き、ご来場頂きたくお卒宜しくお願い致します。

【制作・配布ご協力店舗】

牛たん炭焼 利久 東七番丁店

仙台駅東口から徒歩3分
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-3-22
Tel/Fax : 022-296-3577
<http://www.rikyu-gyutan.co.jp/> (オンラインショップ)
<http://www.gnavi.co.jp/rikyu/> (店舗紹介:ぐるなび)



※ 関東地方にも5店舗あります。(イオンレイクタウン店・池袋店・赤坂店・アトレ吉祥寺店・仙臺たんや利久 東京駅店)



5月19日 秩父鉄道「わくわく鉄道フェスタ」報告

秩父鉄道では年に一度、5月第三土曜日に広瀬川原車両基地の公開イベントを「わくわく鉄道フェスタ」の名称で開催しています。今年も5月19日土曜日に開催されましたのでその様子をお知らせします。

広瀬川原車両基地は、毎年このイベントの日のみ「広瀬川原駅」として臨時列車専用の旅客駅になります。今年はこの広瀬川原臨時列車に1000系が充当されました。特に1002F（旧秩父鉄道色100系タイプ・通称小豆）は往路の3001列車のみの充当となり、これが最後の営業運転となりました。（復路の3005列車影森行は1007F（旧秩父鉄道色旧1000系タイプ）を充当。）



熊谷9時24分発広瀬川原臨時3001列車はこの日で引退の1002F（小豆）。石原駅にて撮影。



熊谷10時22分発広瀬川原臨時3003列車は1001F（ブルー）。前運用の1518列車を武川駅にて撮影。



御花畑9時39分発広瀬川原臨時3002列車は1003F（オレンジ）。武川駅にて撮影。



左から1002F、1001F、1003F。1002Fはこの展示が最後のお披露目に。



電気機関車4色勢揃い。左からデキ505、デキ301、デキ201、デキ103。



SLバレオエクスプレスのC58 363号機は後ろに無蓋貨車を従えての展示。

5月19, 20日 第28回仙台・青葉まつり報告

5月19日と20日、仙台・青葉まつりが2年ぶりに開催されました。古くに行われていた2つの祭りを昭和60年に市民の祭りとして復活させて、今回で28回目となります。例年雨に降られがちなお祭りですが、今年は両日とも晴天に恵まれました。

今年は20日日曜日の本まつり、すずめ踊りと山鉾巡行を中心に観て来ました。



▲翼りたあんずさん



▲柳生祭連さん



▲まつりめぐひめさん



▲OH 囃子来's おかわりさん



▲青葉駒山鉾
(菓匠三全さん)



▲大黒天山鉾
(仙台報道六社さん)



▲七福太鼓山鉾
(七十七銀行さん)



▲大鯛山鉾
(阿部浦鉾さん)



▲雅山鉾
(JR東日本さん)

CTIN でライブ撮影を行っている、**Sagaminokaze-THE-MEWOTO**
 おすすめのアーティストさんをご紹介します。

主な出演会場：御茶ノ水 KAKADO (東北応援行商ライブ会場)
 錦糸町 Pappy's、仙台明屋 (本紙配布ご協力ありがとうございます。)
 他、全国多数のライブハウス、フリーライブなど
 公式サイト <http://www.sagaminokaze.com/mewoto.html>



2012年6月3日 仙台市一番町買物公園にて
 「とっておきの音楽祭」出演時

正真正銘の夫婦デュオ、相模の風 THE めをと。
 語りかけるような熱い演奏の一方で、MC では夫婦ならではのネタで笑わせてくれる、体を張ったステージが印象的なお二人です。
 一方、被災地支援活動を精力的に行っていて、現地での演奏のほか、音楽と現地名産品の販売をコラボさせた「東北応援行商ライブ」を展開されています。
 相模の風 THE めをとのお二人にも「こだわり」について伺ってみました。

いしはらとしひろ Toshihiro Ishihara



Q1. あなたの「人として」の「こだわり」は何ですか？
 いい仕事をする。これは日常の仕事でも、音楽においても。
 本当にいい仕事をしたならば、誰かがよろこんでくれるはず。
 よろこんでもらえるようなことをお届けしたいです。

Q2. あなたの「ミュージシャンとして」の「こだわり」は何ですか？
 小さいことで言ったら「いい音を出す」
 音色は大事です。
 中くらいのことで言ったら「いい曲を作る」。ナニがいい曲か、決めるのはお客様ですが、少なくとも「これはいけたぜ」、と自分で思えるような曲をお届けしたいです。
 大きなことで言ったらライブ会場中に「気のつながり」を生み出す。
 なかなかそうはいかないこともありますが、それを作り出すのが、ミュージシャンとしての僕の、一番大事なこだわりです。



風来直
Nao Kazaki

Q3. 読者の皆様一言お願いします。
 音楽は祝祭です。不機嫌よりもご機嫌。
 アナタがご機嫌になれるような音楽を、ライブショウを常にお届けします！
 いっしょに楽しみましょう。

Q1. あなたの「こだわり」は何ですか？
 My Pleasure = だれかのために何かをすることは私の喜びです。

Q2. 読者の皆様一言お願いします。
 好きなことを楽しんでどんどんやっていきましょう。
 そして笑顔のあふれる日本をみんなで作っていきましょう。

【CD】「ありがとう そしてここから」

2012年3月20日発売、7曲入り 1500円
 ライブ会場、全国CD店、Amazon、iTunes で発売

1. これは夢じゃない
2. 青と青
3. 忘却せずに語り続け
4. ありがとう ~心ぼそい夜に
5. みんないいこ
6. 忘却せずに語り続け DJ Gaku Remix
7. ありがとう DJ Gaku Remix



【ライブ予定】

- 6月16日(土) 石巻サティ
- 6月17日(日) 仙台市宮城野区岡田西町公園仮設住宅
- 6月23日(土) 町田ミュージックパーク (フリーライブ)
- 6月30日(土) 大阪府高槻市 ナッシュビルウエスト
植田タ主催 東北応援行商ライブ in 大阪
(いしはらとしひろ ソロで出演)
- 7月1日(日) 滋賀県東近江市 太子ホール
- 7月6日(金) 錦糸町ハービーズ (O.A)
- 7月7日(土) 静岡・富士リパブルジョン
- 7月15日(日) 用賀ルーチェ

東北応援行商ライブ 第5回

【会場】御茶ノ水 KAKADO <http://kkdo.web.fc2.com/kakado/Welcome.html>
 【日時】2012年7月22日(日) 開場 18:00 開演 18:30
 【料金】前売り / 予約 2000円、当日 2300円 いずれも 1drink 別 予約特典あり
 【出演】相模の風 THE めをと / ほりちえ / 木村三郎 (from 京都)
 東北応援行商ライブは、東北産品の買い物と素晴らしいライブが合体したイベント。
 東北産の品物や食べ物を身体を使って楽しんで頂きつつ「あのこと」を忘れない、語り継いでいくイベントです。
 イベント内「行商タイム」で販売したものの売り上げは半額を被災地、あるいは被災ボランティア団体に寄付。残り半額を次の行商ライブの買い物資金に充てます。



2012年4月21日に行われた、東北応援行商ライブ第4回の様子。出演者が購入した東北名産品のオークションが行われた。

CTIN では、ライブ写真の撮影に際して必ず事前にアーティストさん及びライブ会場、イベント主催者さんの了承を得た上で行っています。会場の後方または側面壁際に構え、フラッシュは使わず、状況に応じてシャッター音の出ないカメラを使用するなど、他のお客様にご迷惑をお掛けしないよう努めています。

次号 Vol.9 は戸城佳南江さん、ムラタモヒロさんのユニット「アルコールカ」にご登場頂きます。

- ◎ 6月16日(土) 17日(日) 生誕40周年記念祭(仮) デザインフェスタギャラリー原宿 WEST1-B
- ◎ 8月11日(土) 愛をつなごう文化祭 Vol.3 相模原 MAPLE HALL
- ◎ 8月25日(土) からす天狗主催イベント 四谷天窓(高田馬場)
- ◎ 11月9日(土) 10日(日) Design Festa Vol.36 東京ビッグサイト西ホール

他、7月～10月に「月例展示」をデザインフェスタギャラリー原宿アートピースにて計画中。
それぞれ、詳細は近づき次第本紙及び Web、Twitter 等でお知らせします。

【CTIN Artist Selection 掲載について】 CTIN Artist Selection は、アーティストさんの音楽以外の部分での魅力を牽き出し、読者の皆さんにその方の音楽に興味を持って頂くことを主目的に掲載しています。掲載基準ですが、河野が日頃、ライブ写真を撮らせて頂いているアーティストさんの中から、原則としてワンマンライブまたは主催イベント等、特に集客が必要とされるであろうイベントが控えていらっしゃる方について、概ね前月を目安に紹介するようにしています。原則、こちらでチェックして声を掛けさせて頂いていますが、特に上記のようなイベントが早目に決まった方は、出来れば早目にお知らせ頂けると幸いです。

因みに、6月10日時点で、Vol.10(8月下旬発行予定)以降の掲載アーティストさんが未定となっています。



伊達に旅する写真集 ～仙台・宮城へ出かけよう～

発売中!! 1冊 800円(うち寄付金 300円)

A5判 32ページに、仙台・宮城の鉄道・観光写真を凝縮しています。

売り上げのうち、1冊 300円分については、宮城県を中心とした被災地支援活動に活用して頂くよう、寄付を行います。(CTIN 出展の展示会場、牛たん炭焼 利久 東七番丁店で販売。他は河野までお問い合わせください。)



ミニ写真集

秩父路総天然色

～電車に乗って、出かけよう。～

発売中!! 1冊 300円

Design Festa Vol.35での展示のコンセプトそのままに、秩父路を走る電車の色と観光地のイメージの色を対比させて B6 版 16 ページに纏めました。CTIN 出展の展示会場にて販売。または河野までお問い合わせください。



笑顔咲くたび 伊達な旅 仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン

4月1日から6月30日まで開催中 <http://sendaimiyagidc.jp/>



JR6社による大型観光キャンペーン「仙台・宮城ディスティネーションキャンペーン」が来年4月から6月まで開催されますが、それに先立ち、「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」が開催されています。是非、宮城県に足を運んで頂き、現地の空気を感じて頂き、また、宮城の新たな魅力を発見して頂けると幸いです。

配布ご協力店大募集!!

フリーペーパー「101」は、カフェ、ライブハウス、ギャラリーなどを訪れるお客様に気軽にご覧頂けるフリーペーパーを目指しています。現時点ではこれといった御礼も出来ませんが(せめてお名前だけでも紙面で紹介させて頂きます。)、配布にご協力頂けるお店の方もしくはアーティスト様、何卒、メール、Twitterで、あるいは直接お会いしたときなどお声掛け頂きたく、宜しくお願い致します。

【Vol.7 配布ご協力ありがとうございます】(順不同)

- ★牛たん 炭焼 利久 東七番丁店様(宮城県仙台市) ★ホシカワカフェ様(埼玉県熊谷市) ★恵比寿天窓 .switch 様(東京都渋谷区)
- ★銀座 Miiya Cafe 様(東京都中央区) ★赤坂 Graffiti 様(東京都港区) ★代官山 NOMAD 様(東京都渋谷区)
- ★四谷天窓 .comfort 様(東京都新宿区) ★北参道ストロボカフェ様(東京都渋谷区)
- ★デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿様(東京都渋谷区) ★Green World Cafe 様(東京都稲城市)
- ★錦糸町 PAPPY'S 様(東京都墨田区) ★Live inn 唄屋様(宮城県仙台市) ★相模の風 THE めをと様
- ★詩-uta- 様 ★ツヅリ・ツクリ様 ★さしのりこ様 ★ふわふわあふあくとりい様 ★@なおポップ様

【名称「101」の由来】 本紙は Vol.3 まで CTIN Press の名称で発行して参りましたが、皆様により親しみやすい名称を、と考え、Vol.4 より名称を「101(いちまるいち)」と改めております。CTIN の活動の原点であり、秩父鉄道 1000 系電車の改造元である国鉄(JR)101系電車が語源です。101系は現在日本を走る通勤電車の基礎を築いた車両であり、シンプルなデザインの中に機能美を持ち合わせています。CTIN の活動が常にこの 101系または流れを受け継ぐ車両たちの影響下にあること、また、101系の名前は「いの一番」という言葉に喩えられますが、常に皆さんの「いの一番」でありたい、という願いを込め、この名前を採用しました。引き続きご愛顧のほど、宜しくお願い致します。

あとがき

私事ですが、本紙が発行される日、40歳の誕生日を迎えます。日本社会の理想像とされる40歳レベルの生活とは全くかけ離れた日々を送っておりますが、気にする気配は全くありません。むしろそういった理想像のようなものに真っ向から疑問を呈して立ち向かっていきたい・・・といえは聞こえはよさそうなのですが、体力の衰えも若干気になりだしているところではあります。そんなわけで、次号の発行は少し間をおいて、7月末ごろを予定しております。

